

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばと		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 19日		～ 令和 8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 30名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 9日		～ 令和 8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達にわかりやすい活動の設定と展開	子ども達にわかりやすい日課の設定。 過ごし方や課題の明確化を実施。	子ども達にわかりやすいツールを使用した情報提供 (文字、絵、写真等)
2	子ども達が通所を楽しみにしている	子ども達の興味のあることや関心のあることにフォーカスした 活動内容の設定。	日々の持続的なニーズの抽出する。 抽出内容を活動に反映し、実行していく。
3	職員の連携の柔軟性、チームワーク	利用者の状態把握や綿密な情報共有の実施	支援者一人ひとりのスキルアップを目指した研修の実施。 (OJTを含む)

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学童クラブや児童館等の障害のない子ども達と交流機会の提供	地域の学童クラブや児童館等の障害のない子ども達との交流機会の提供	外出活動を通じて、地域の障害のない子ども達との交流機会の設定。 公共施設の積極的な利用を行う。
2	活動スペースが十分でない(天候不良時)	学齢期・青年期を迎える子ども達には、活動内容によっては活動スペースが狭く適当ではない。	公共交通機関等の地域資源の活用を検討・実施。
3	専門性のある活動の実施	専門職(OT、PT、ST)の不在。	専門職(OT、PT、ST)の配置の検討。